

# 広島県で今季10例目の 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜 を確認!!

- 広島県北広島町の採卵鶏農場（約8万羽飼養）において、今季国内10例目となる高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました（死亡羽数の増加で通報）。
- 道内では、野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出される事例が続いています。
- 北へ帰る白鳥などの渡り鳥が増える時期になりました。

飼養家きんを守るため、次の事を再確認しましょう！

- 野生鳥獣が家きん舎に侵入する壁や床等の隙間の修繕
- 防鳥ネットの破損の補修
- 家きん舎専用の衣服・長靴の着用
- 入退場時の車両消毒の徹底
- 家きん舎及び農場周辺の消毒薬（消石灰等）散布の徹底
- 家きんの看視の強化と早期発見・通報
- 消毒薬の希釈濃度を確認（冬期は用法範囲内の高濃度で）

病原体を●持ち込まない！  
●ひろげない！  
●持ち出さない！

逆性石けん系消毒薬（パコマ、ロンテクト、アストップ等）は、低温下で効果が減弱します。冬季は、用法範囲内の高濃度で使用。アルカリ化して使用する方法も有効です。詳しくはお問い合わせください。

北海道十勝家畜保健衛生所

電話：0155-59-2021

夜間・休日TEL：0155-26-9005（十勝総合振興局）